

2015年10月20日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国中小企業動向調査結果

(2015年7-9月期実績、10-12月期以降見通し)

小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、持ち直しの動きが緩やかになっている

(前回)持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期からほぼ横ばいの▲26.8となった。
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期から横ばいの▲20.5となった。
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、マイナス幅が拡大し、▲14.8となった。
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

| 業況判断DI | 売上DI | 採算DI | 資金繰りDI | 借入DI |
|-------------|-----------|-------------|-------------|------------|
| ▲26.8(-0.3) | ▲20.5(±0) | ▲14.8(-1.0) | ▲20.6(-2.6) | ▲6.6(+0.3) |

中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、緩やかに回復している

(前回)緩やかに回復している

- 業況判断DIは、2期連続で上昇し、4.7となった。
来期は低下、来々期は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、2期連続で上昇し、7.8となった。
来期以降は上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、2期連続で上昇し、▲1.0となった。
来期は低下、来々期は上昇する見通し。 ← 21ページ

| 業況判断DI | 売上DI | 純益率DI | 資金繰りDI | 長期借入難易DI |
|-----------|-----------|------------|-----------|------------|
| 4.7(+1.9) | 7.8(+4.2) | ▲1.0(+4.7) | 7.4(+1.0) | 14.4(+0.8) |

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:桑本、清野)
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:金子、神谷)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

目次

調査結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

【小企業編】

概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
調査の実施要領・・・・・・・・・・・・ 4
業況判断・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
売上・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
採算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
資金繰り、借入・・・・・・・・・・・・ 12
経営上の問題点・・・・・・・・・・・・ 13
設備投資、価格動向・・・・・・・・・・ 14

【中小企業編】

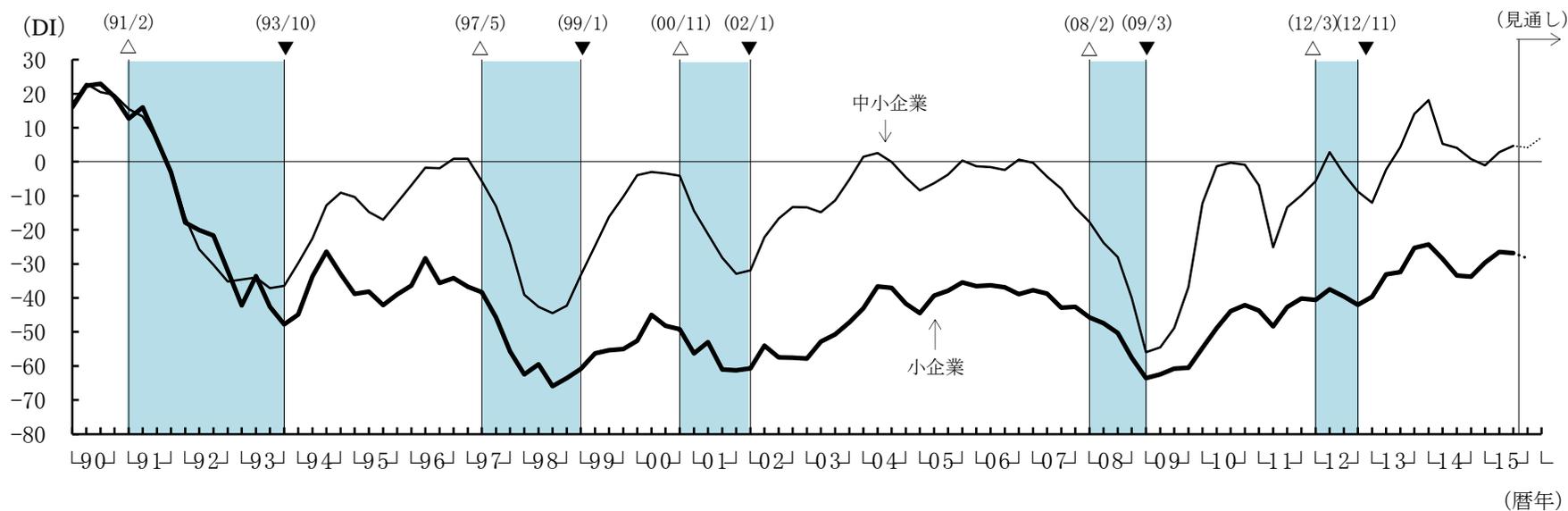
概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
調査の実施要領・・・・・・・・・・・・ 16
業況判断・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
売上・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
利益・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
価格、金融関連・・・・・・・・・・・・ 22
雇用、設備・・・・・・・・・・・・・・ 23
経営上の問題点・・・・・・・・・・・・ 24

調査結果の概要

1 業況判断DIの推移

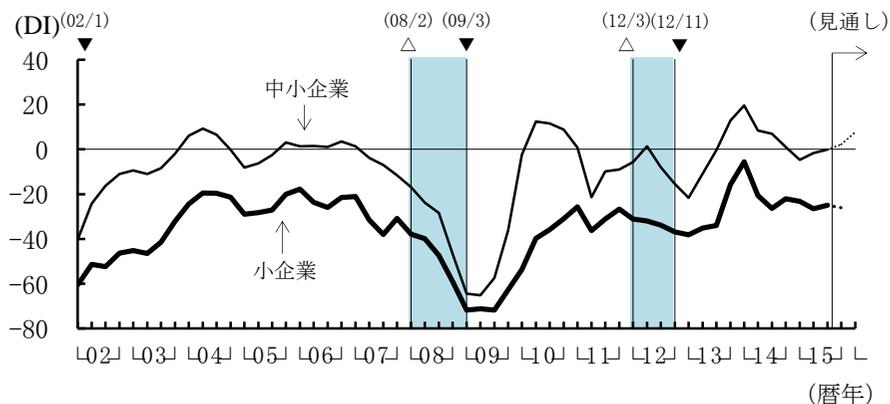
①全業種計

| | 13.7-9 | 13.10-12 | 14.1-3 | 14.4-6 | 14.7-9 | 14.10-12 | 15.1-3 | 15.4-6 | 15.7-9 | 15.10-12 | 16.1-3 |
|------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|
| 中小企業 | 4.3 | 14.1 | 18.1 | 5.3 | 4.1 | 0.8 | ▲1.0 | 2.8 | 4.7 | 見通し | 見通し |
| 小企業 | ▲32.4 | ▲25.3 | ▲24.3 | ▲28.5 | ▲33.4 | ▲33.8 | ▲29.6 | ▲26.5 | ▲26.8 | ▲28.3 | - |



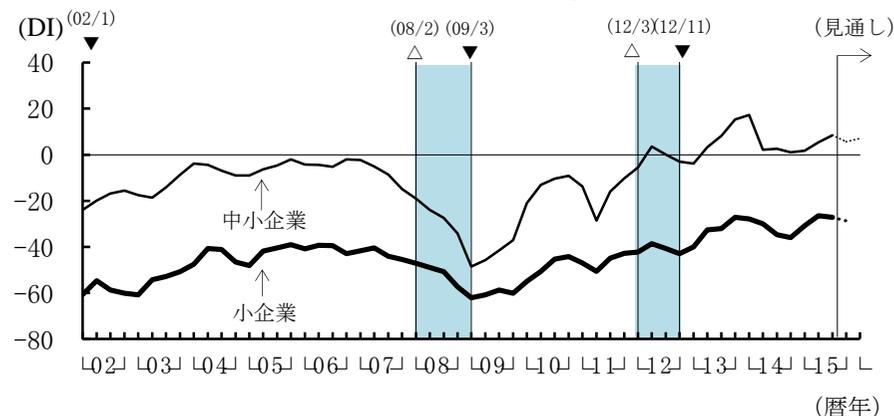
②製造業

| | 15.1-3 | 15.4-6 | 15.7-9 | 15.10-12 | 16.1-3 |
|------|--------|--------|--------|----------|--------|
| 中小企業 | ▲4.6 | ▲1.6 | ▲0.1 | 2.2 | 7.6 |
| 小企業 | ▲23.2 | ▲26.5 | ▲25.0 | ▲26.1 | - |



③非製造業

| | 15.1-3 | 15.4-6 | 15.7-9 | 15.10-12 | 16.1-3 |
|------|--------|--------|--------|----------|--------|
| 中小企業 | 1.8 | 5.4 | 8.5 | 5.6 | 7.0 |
| 小企業 | ▲30.8 | ▲26.5 | ▲27.2 | ▲28.7 | - |

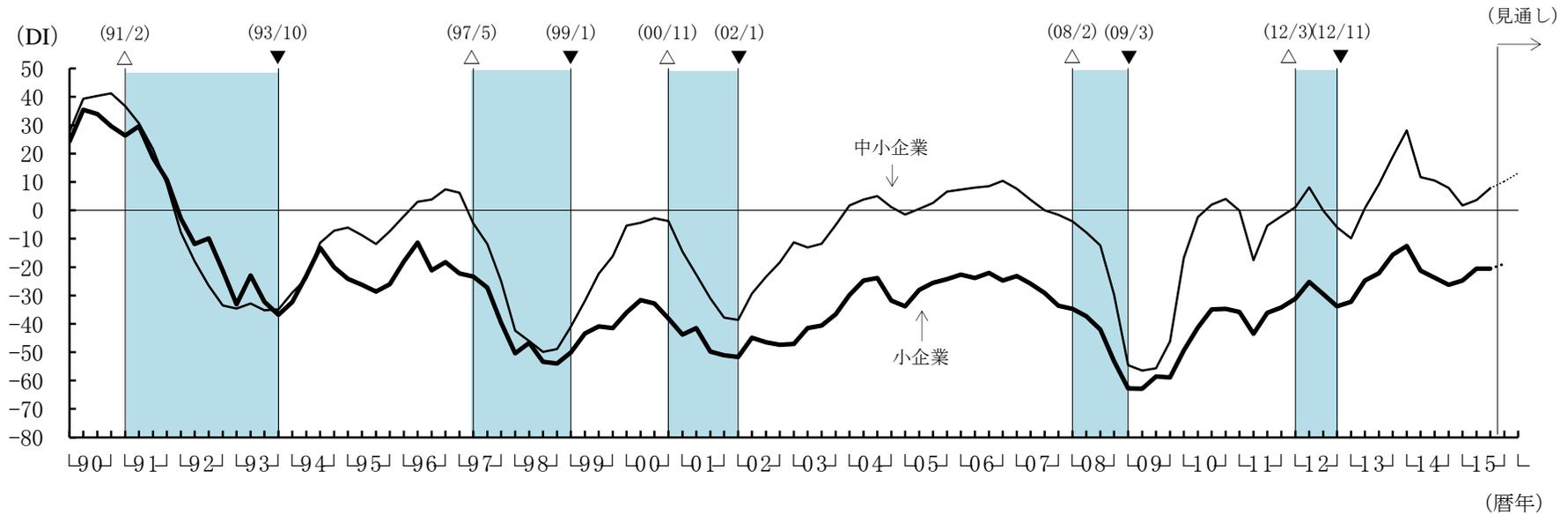


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

2 売上DIの推移

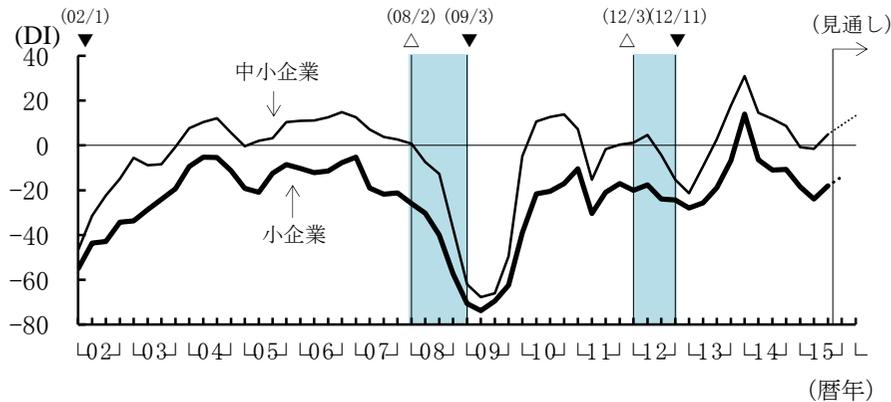
①全業種計

| | 13.7-9 | 13.10-12 | 14.1-3 | 14.4-6 | 14.7-9 | 14.10-12 | 15.1-3 | 15.4-6 | 15.7-9 | 15.10-12 | 16.1-3 |
|------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|
| 中小企業 | 9.2 | 18.9 | 28.2 | 11.7 | 10.5 | 7.9 | 1.7 | 3.6 | 7.8 | 見通し | 見通し |
| 小企業 | ▲22.1 | ▲15.6 | ▲12.5 | ▲21.3 | ▲23.8 | ▲26.2 | ▲24.7 | ▲20.5 | ▲20.5 | ▲18.8 | - |



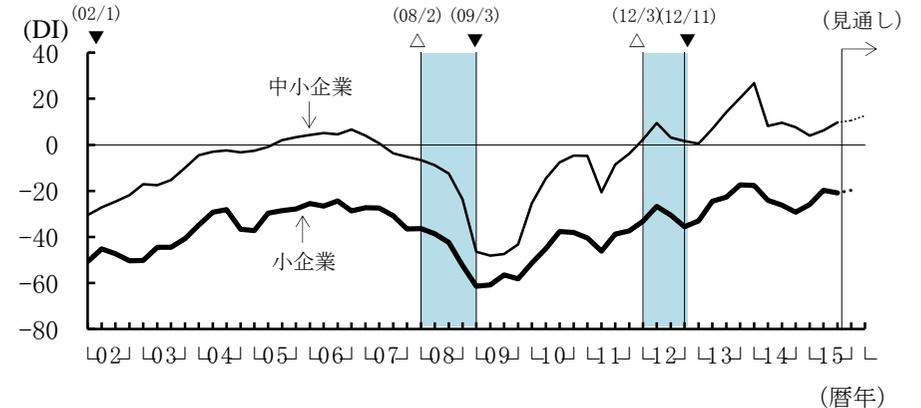
②製造業

| | 15.1-3 | 15.4-6 | 15.7-9 | 15.10-12 | 16.1-3 |
|------|--------|--------|--------|----------|--------|
| 中小企業 | ▲0.8 | ▲1.5 | 5.0 | 9.1 | 13.3 |
| 小企業 | ▲18.5 | ▲24.0 | ▲18.1 | ▲14.0 | - |



③非製造業

| | 15.1-3 | 15.4-6 | 15.7-9 | 15.10-12 | 16.1-3 |
|------|--------|--------|--------|----------|--------|
| 中小企業 | 4.0 | 6.2 | 9.7 | 10.5 | 12.7 |
| 小企業 | ▲25.9 | ▲19.8 | ▲20.9 | ▲19.7 | - |



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

小 企 業 編

(2015年7-9月期実績、10-12月期見通し)

小企業の景況は、持ち直しの動きが緩やかになっている

[概況]

- ・業況判断DIは、前回調査（2015年4-6月期）からほぼ横ばいの▲26.8となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- ・業種別にみると、製造業はマイナス幅が縮小し、▲25.0となった。非製造業はマイナス幅が拡大し、▲27.2となった。来期は、製造業、非製造業ともに、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- ・売上DIは、前期から横ばいとなった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- ・採算DIは、マイナス幅が拡大した。来期は、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

[調査の実施要領]

調査時点 2015年9月中旬
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業
 有効回答数 7,021 企業 [回答率 70.2 %]

<業種構成>

| | | 調査対象 | 有効回答数 | |
|---------|------------|----------|----------|--------------|
| 製造業 | (従業者20人未満) | 1,500 企業 | 1,129 企業 | (構成比 16.1 %) |
| 卸売業 | (同 10人未満) | 800 企業 | 597 企業 | (同 8.5 %) |
| 小売業 | (同 10人未満) | 2,450 企業 | 1,690 企業 | (同 24.1 %) |
| 飲食店・宿泊業 | (同 10人未満) | 1,800 企業 | 1,163 企業 | (同 16.6 %) |
| サービス業 | (同 20人未満) | 2,000 企業 | 1,417 企業 | (同 20.2 %) |
| 情報通信業 | (同 20人未満) | 160 企業 | 104 企業 | (同 1.5 %) |
| 建設業 | (同 20人未満) | 1,100 企業 | 786 企業 | (同 11.2 %) |
| 運輸業 | (同 20人未満) | 190 企業 | 135 企業 | (同 1.9 %) |

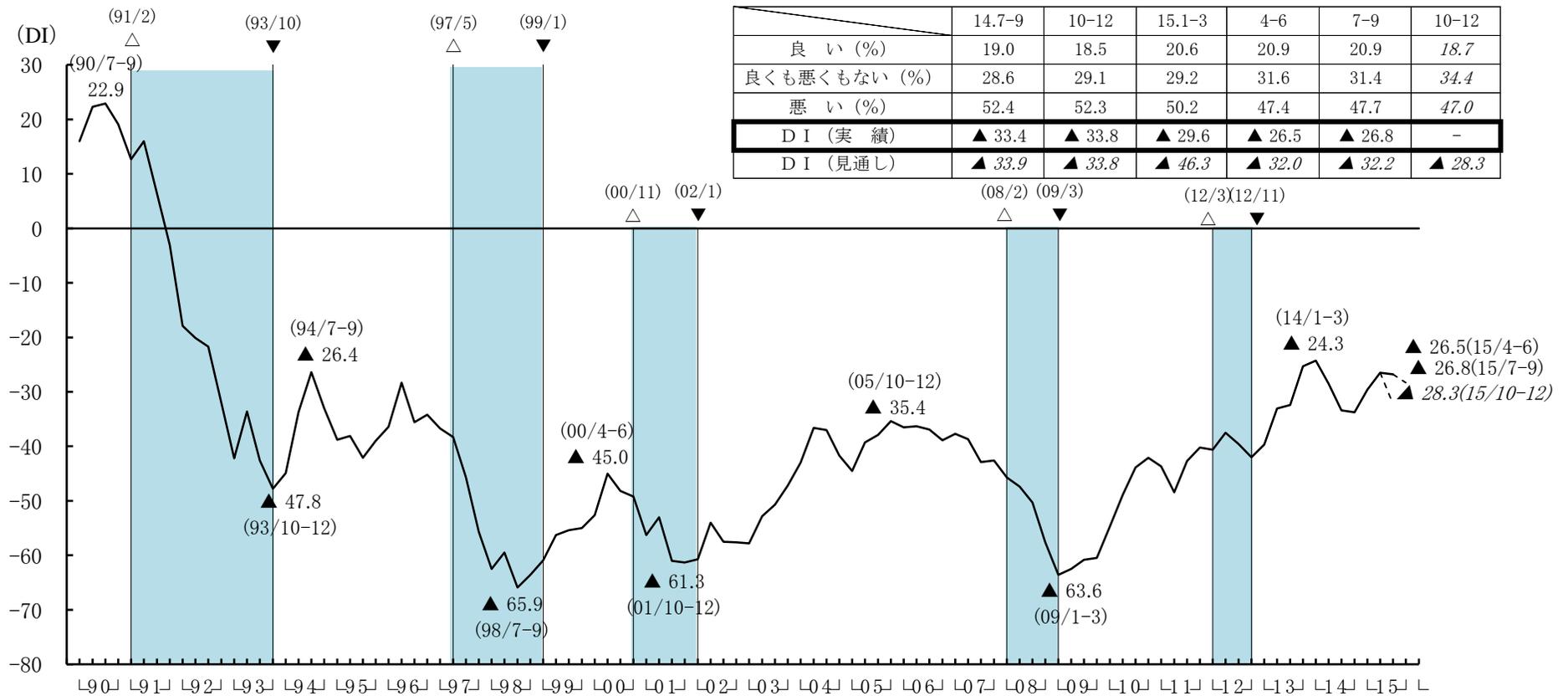
(参考)

| | | |
|----|----------|--------------|
| 法人 | 4,515 企業 | (構成比 64.3 %) |
| 個人 | 2,506 企業 | (同 35.7 %) |

1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前回調査（2015年4-6月期）からほぼ横ばいの▲26.8となった。来期は、マイナス幅が1.5ポイント拡大し、▲28.3となる見通しである。
- 業種別にみると、製造業はマイナス幅が縮小し、▲25.0となった。一方、非製造業はマイナス幅が拡大し、▲27.2となった。非製造業を構成する大分類業種のうち、小売業とサービス業でマイナス幅が拡大した。来期は、製造業、非製造業ともに、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- 地域別にみると、北海道と北陸でマイナス幅が縮小した。来期は、東京・南関東、四国、九州を除く全ての地域で、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。

図－1 業況判断DIの推移（全業種計）

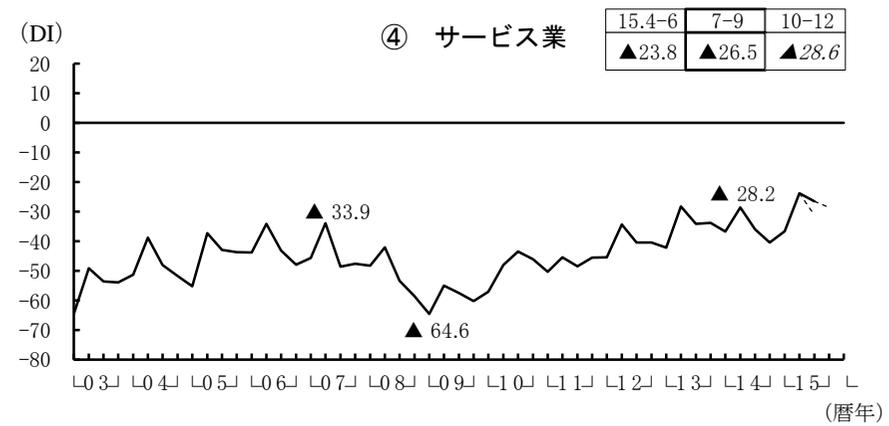
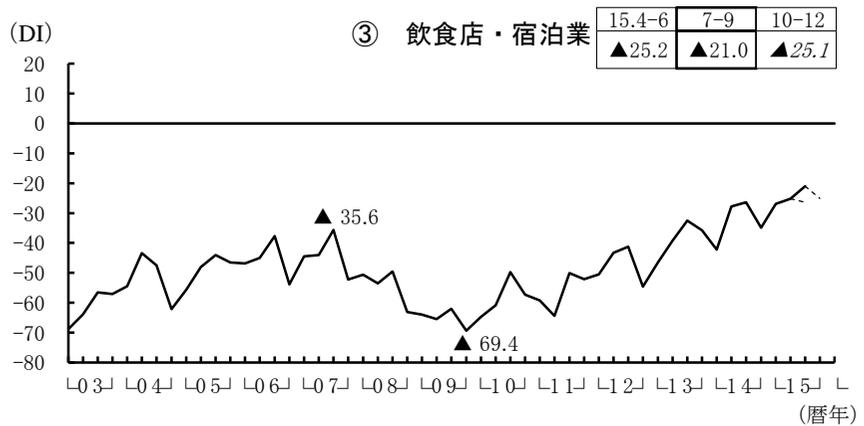
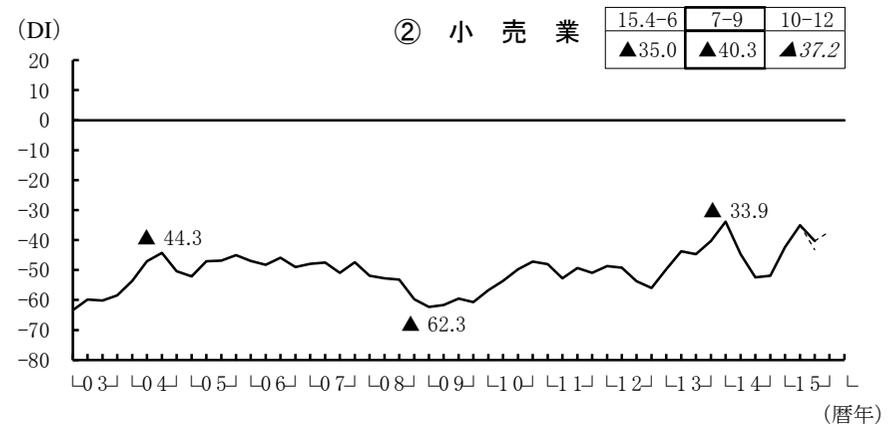
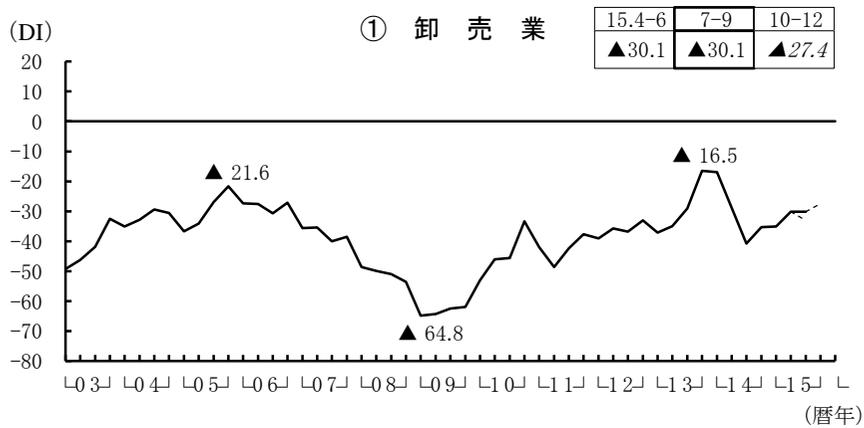
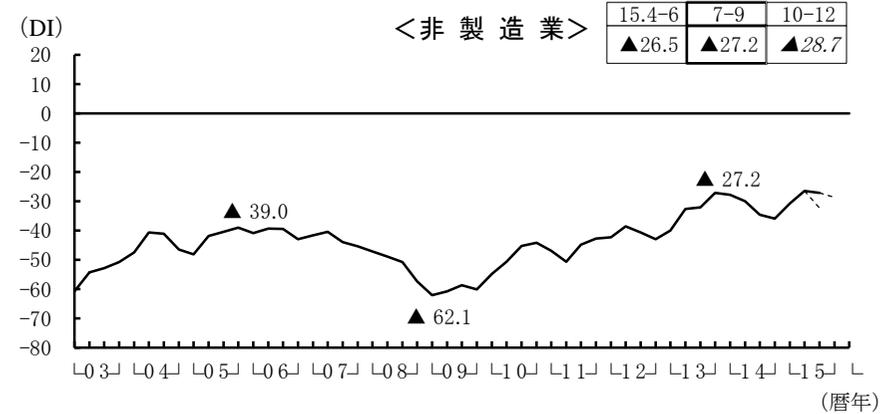
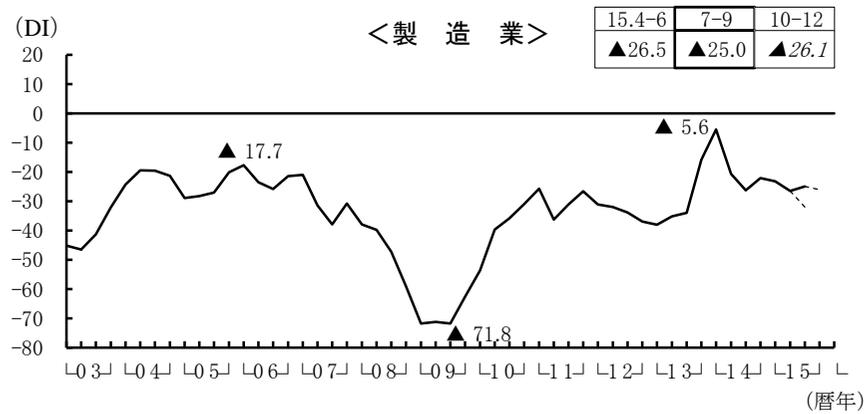


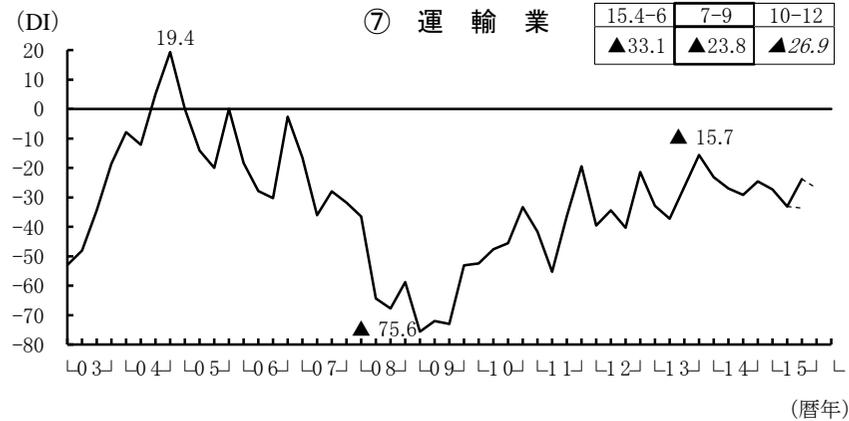
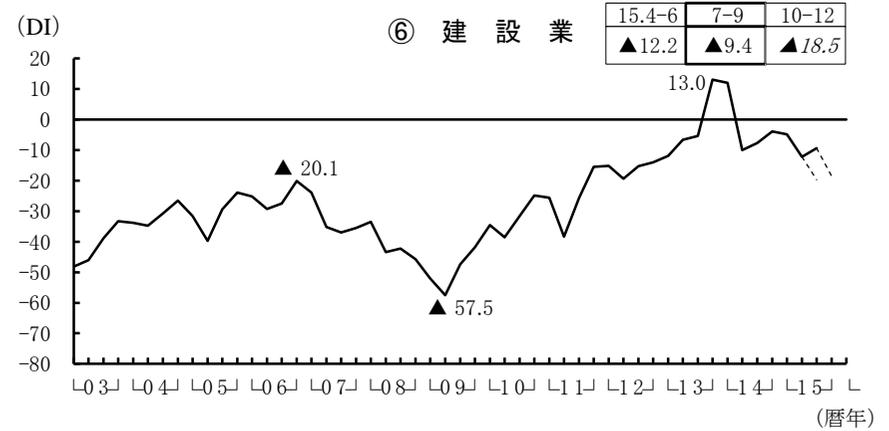
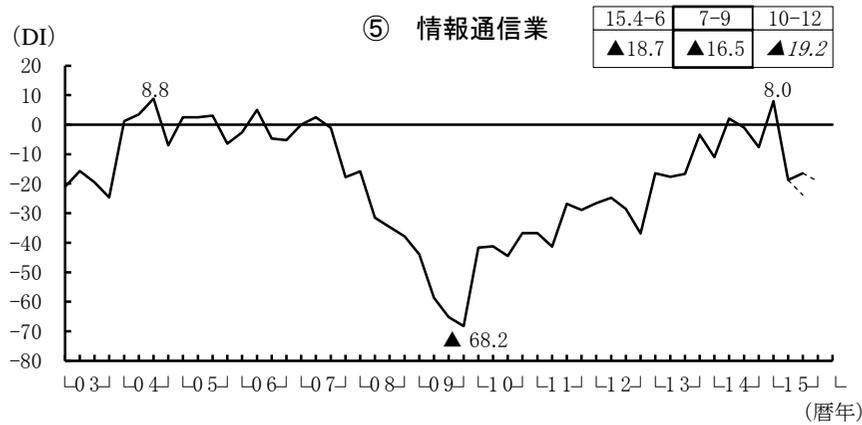
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

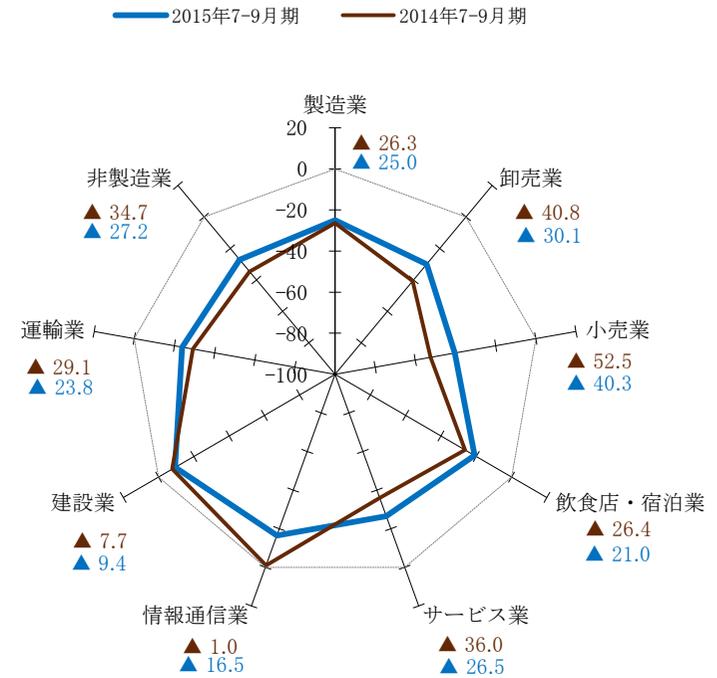
(暦年)

図－２ 業種別業況判断DIの推移

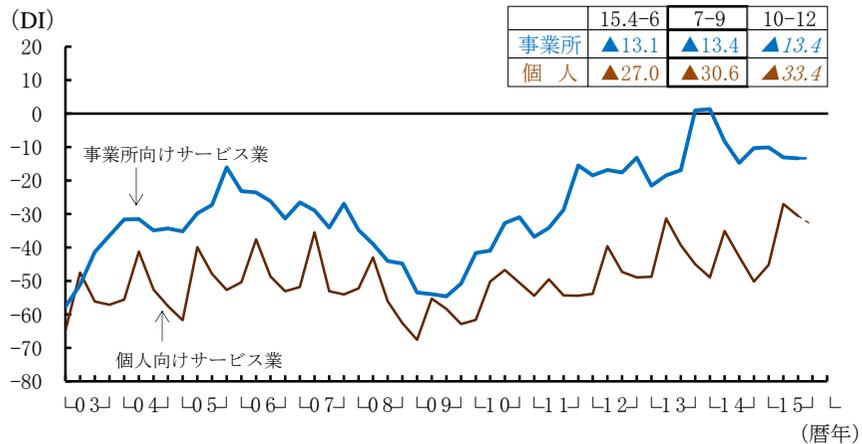




(参考2) 1年前 (2014年7-9月期) の水準との比較

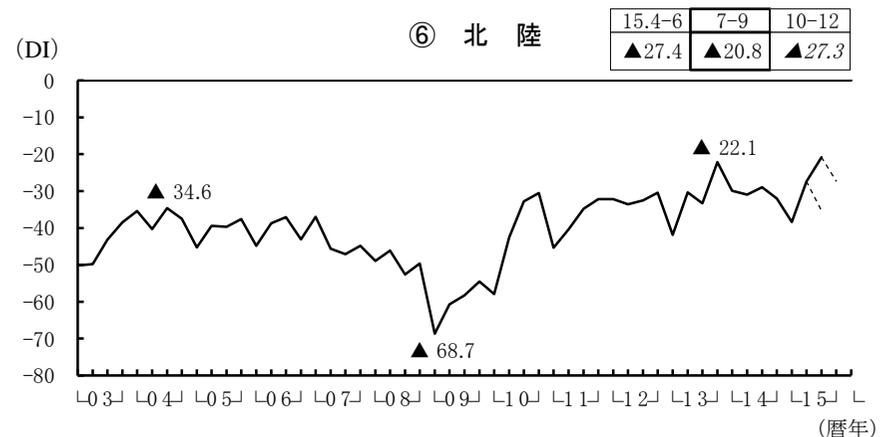
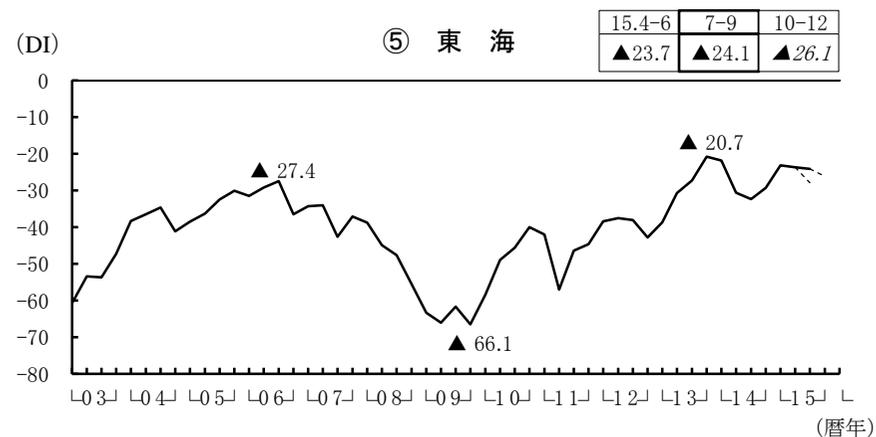
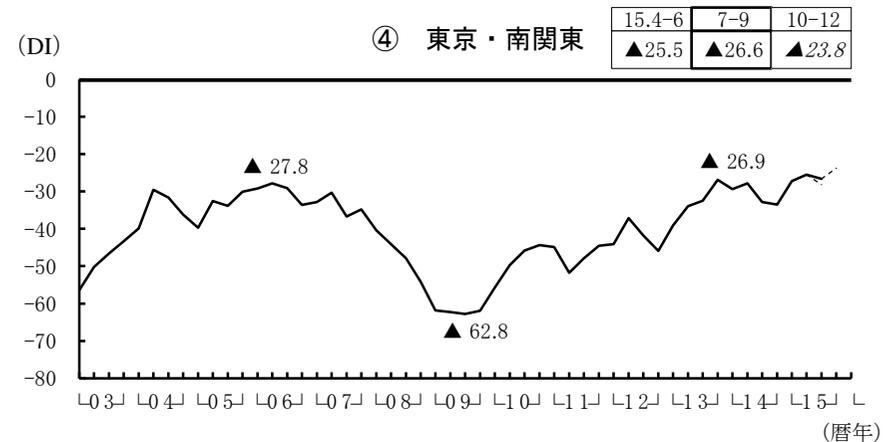
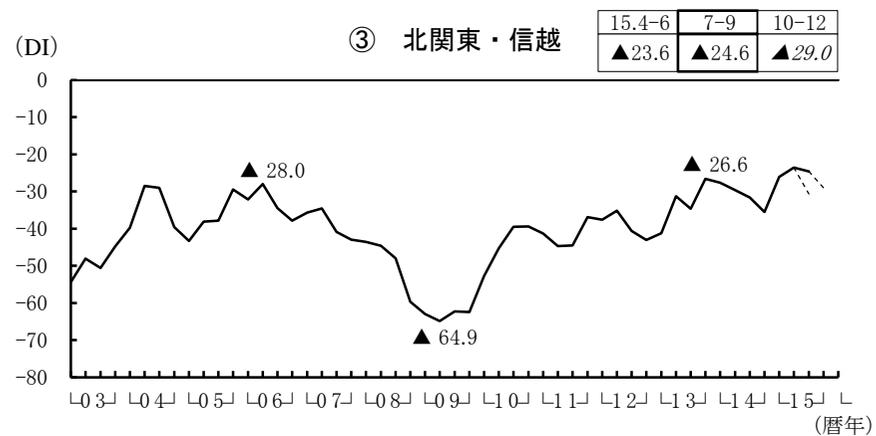
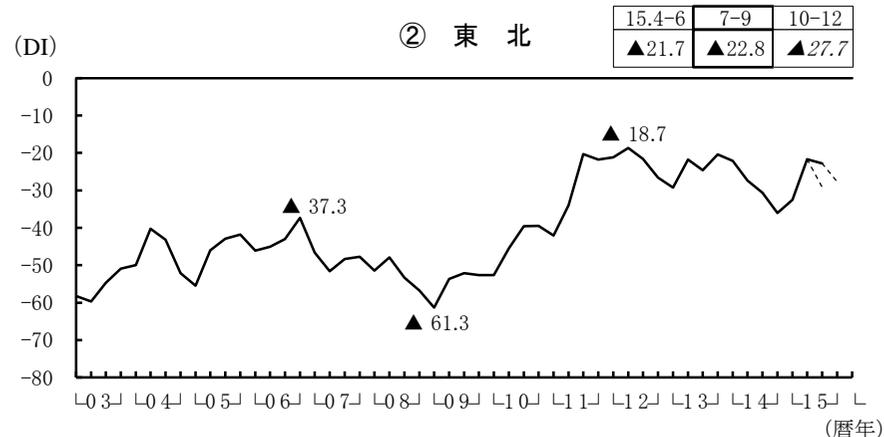
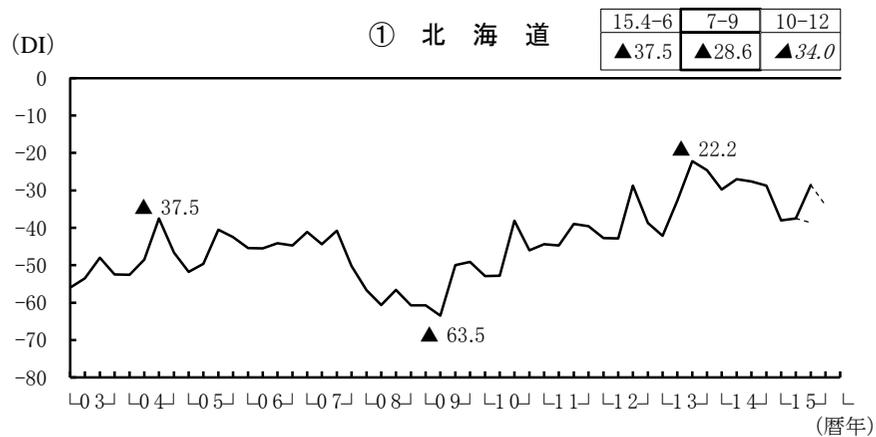


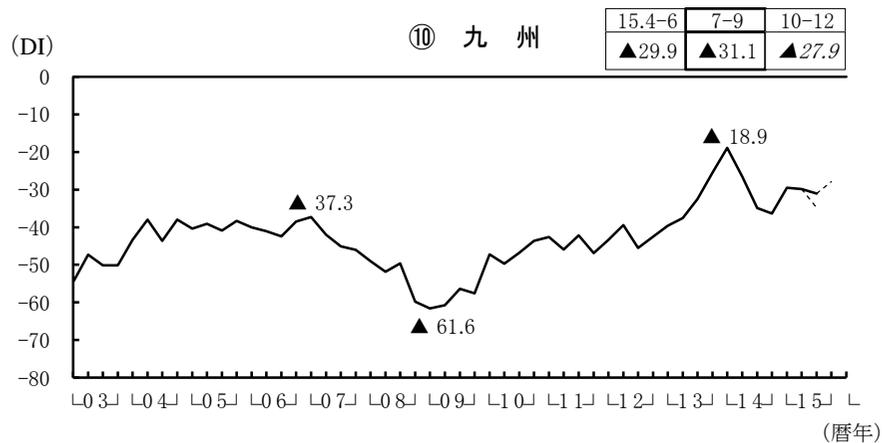
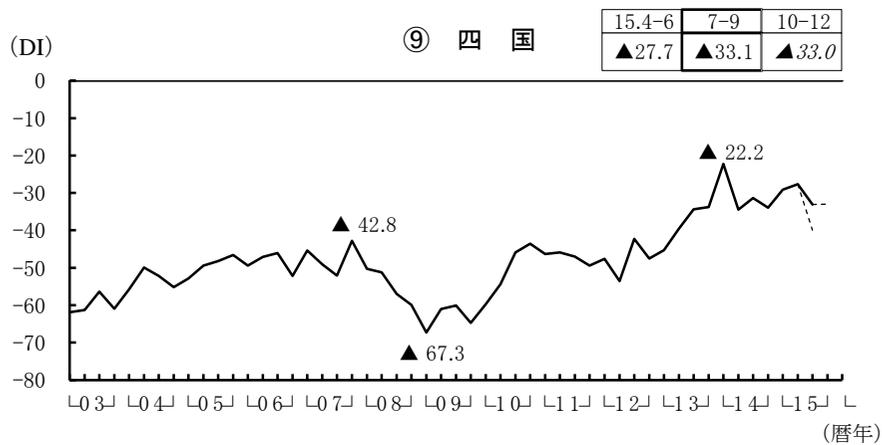
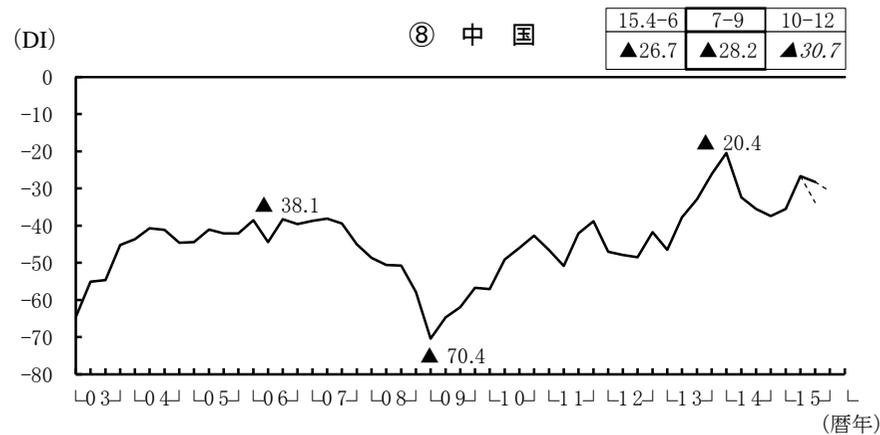
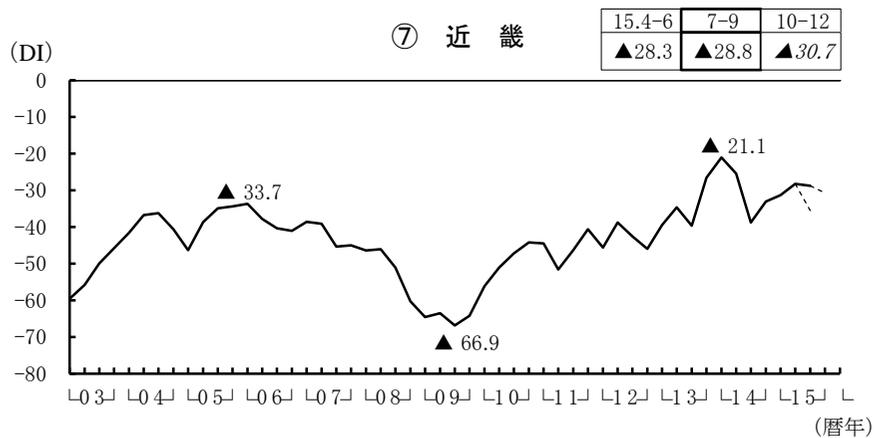
(参考1) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



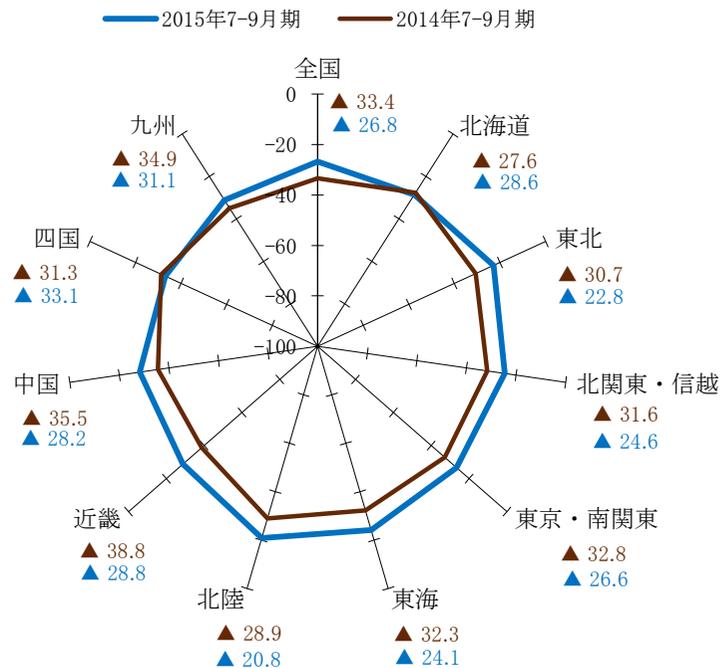
(注) 各業種の値は、上段が1年前、下段が今期を示している。

図－3 地域別業況判断DIの推移





(参考) 1年前 (2014年7-9月期) の水準との比較

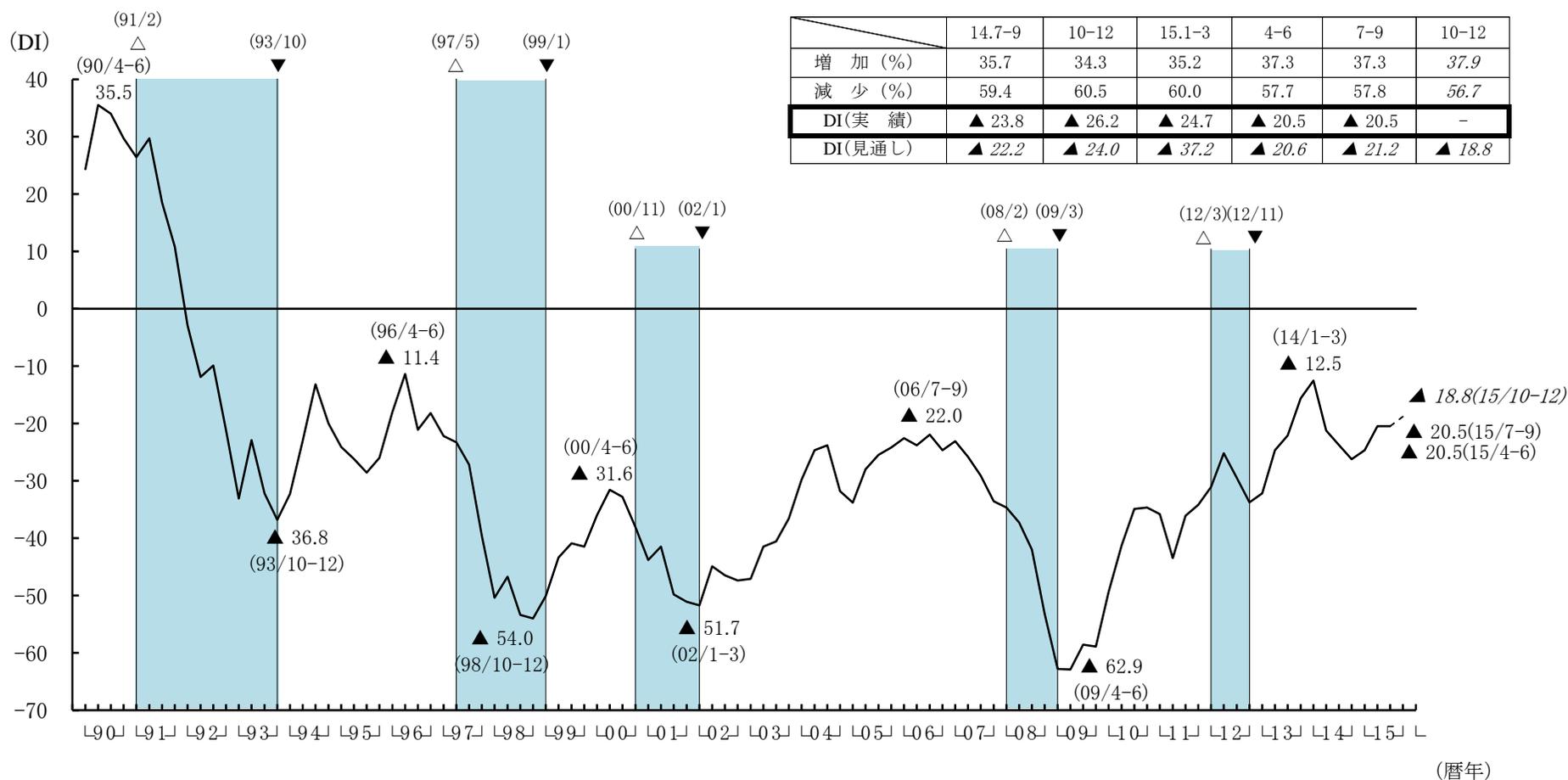


(注) 各地域の値は、上段が1年前、下段が今期を示している。

2 売上

- 売上DI(全業種計)は、前回調査から横ばいの▲20.5となった。
- 来期は、マイナス幅が1.7ポイント縮小する見通しとなっている。

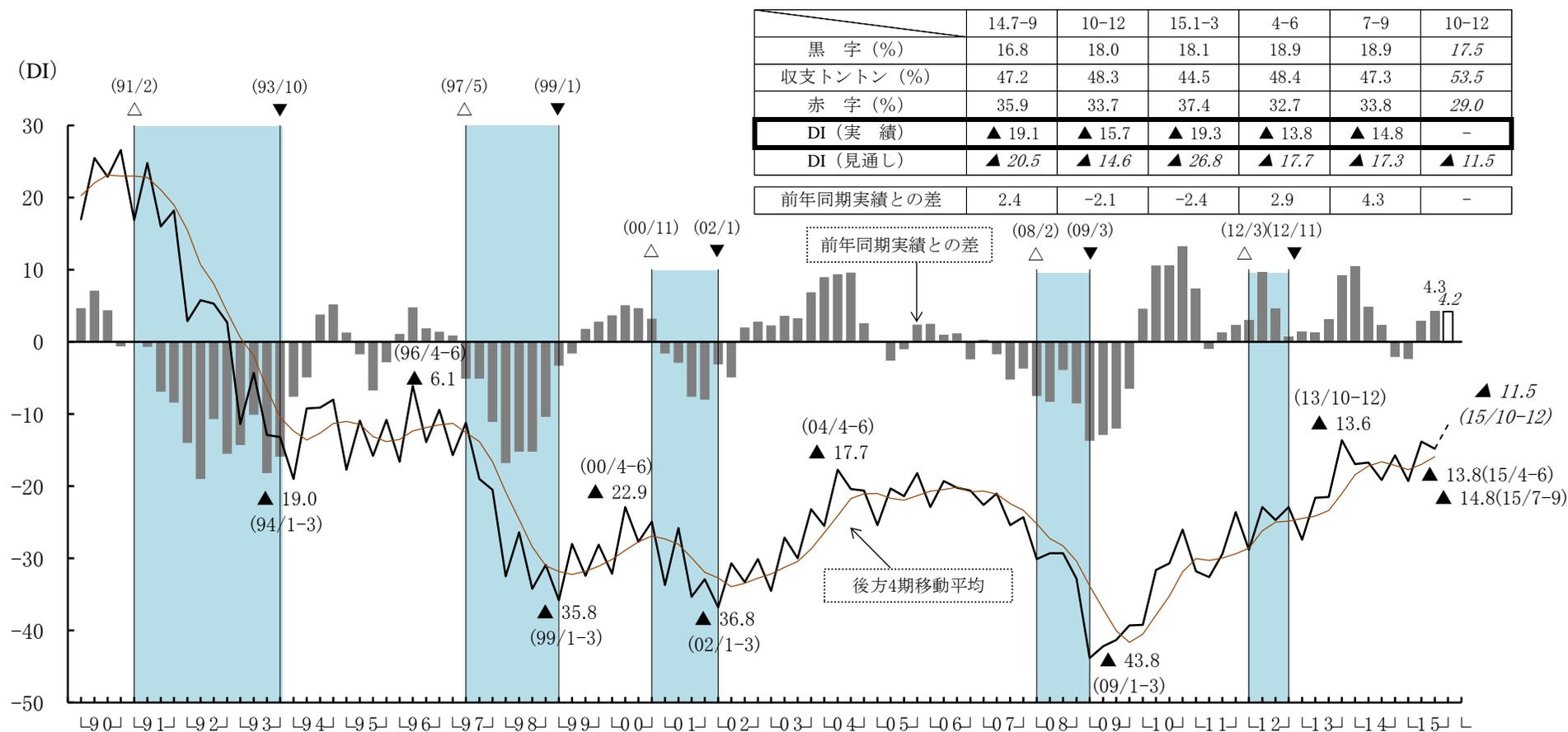
図－4 売上DIの推移（全業種計）



3 採算

- 採算DI(全業種計)は、前回調査に比べてマイナス幅が1.0ポイント拡大し、▲14.8となった。前年同期実績と比べると、2期連続で上回っている。
- 来期は、マイナス幅が3.3ポイント縮小する見通しとなっている。

図－5 採算DIの推移（全業種計）



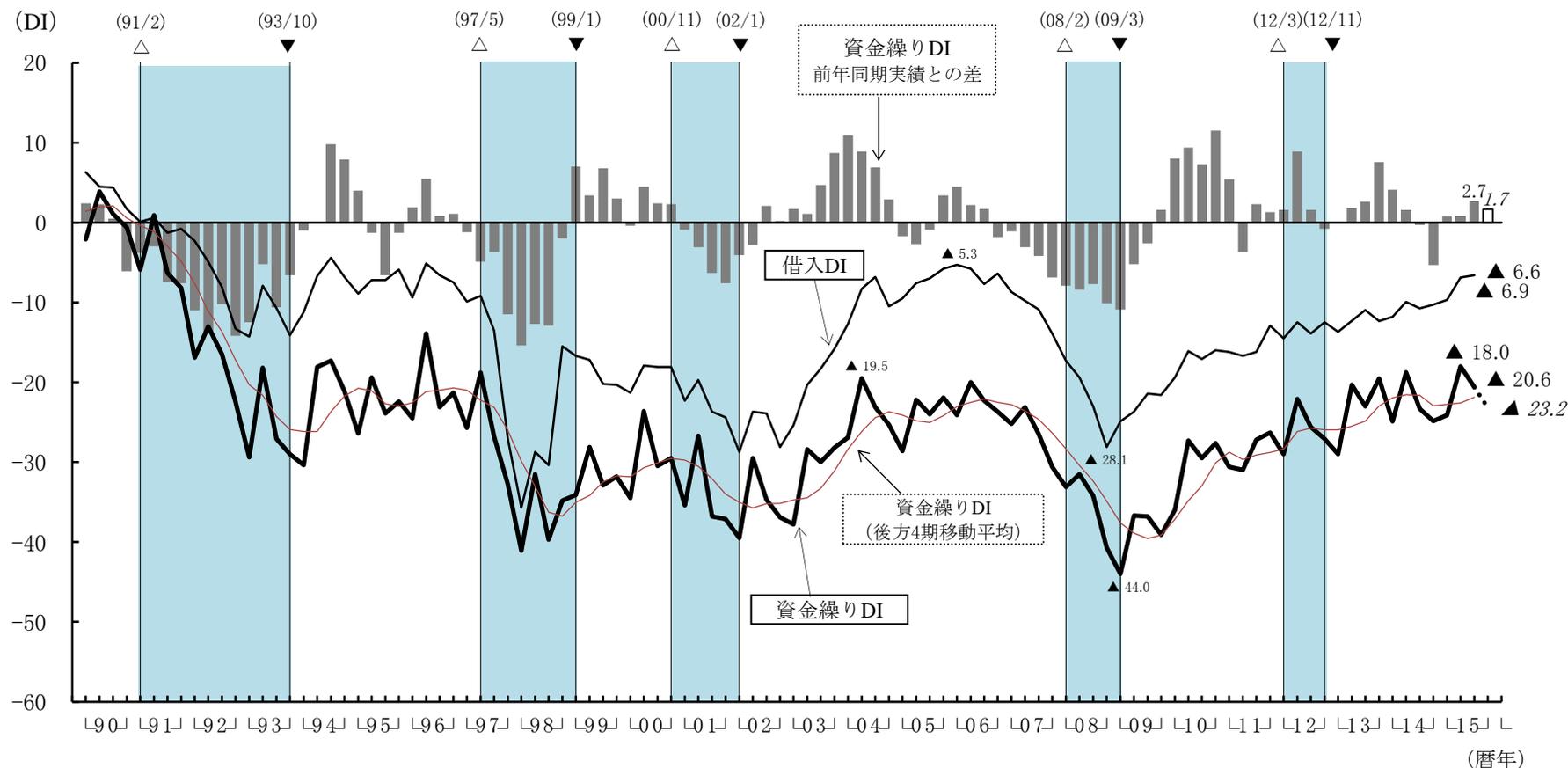
(注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

(暦年)

4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、マイナス幅が2.6ポイント拡大し、▲20.6となった。来期は、マイナス幅が2.6ポイント拡大する見通しとなっている。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、マイナス幅が0.3ポイント縮小し、▲6.6となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

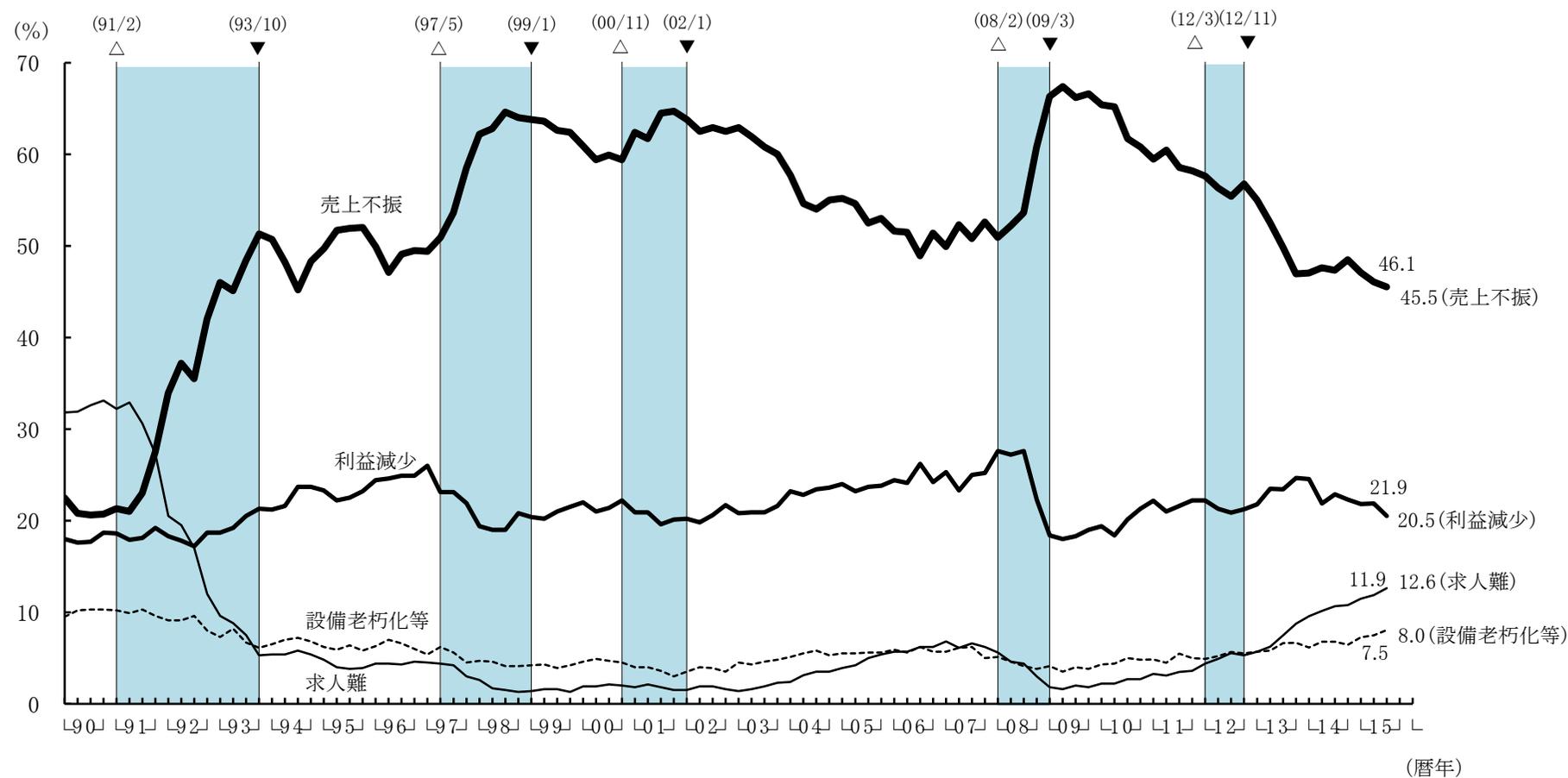


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

5 経営上の問題点

○ 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が45.5%と依然として最も多く、次いで、「利益減少」（20.5%）、「求人難」（12.6%）の順となっている。「求人難」は、11期連続で上昇している。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）



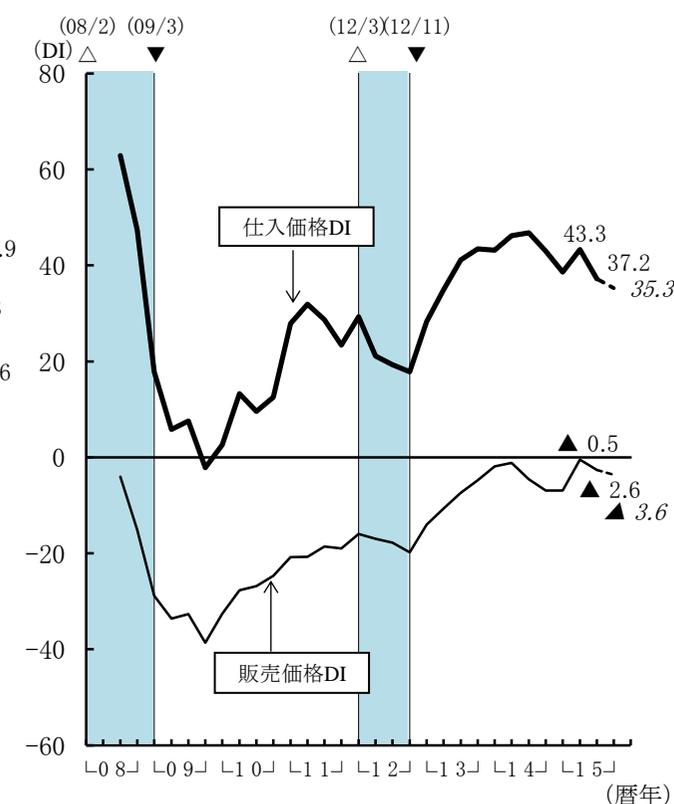
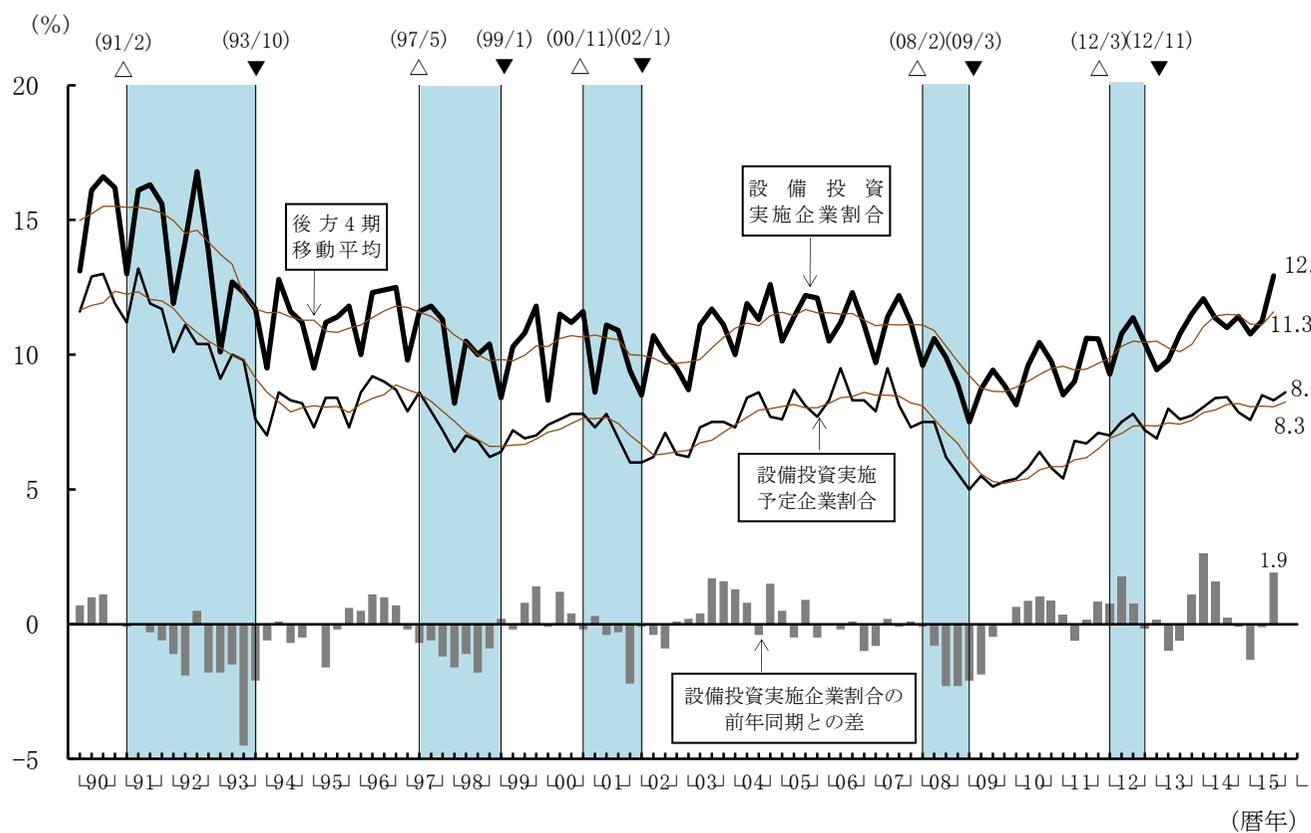
(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、1.6ポイント上昇し、12.9%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、マイナス幅が2.1ポイント拡大し、▲2.6となった。来期は、マイナス幅が1.1ポイント拡大する見通しとなっている。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、6.1ポイント低下し、37.2となった。来期は、1.9ポイント低下する見通しとなっている。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）

図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 2008年7-9月期から調査を実施。

中 小 企 業 編

(2015年7-9月期実績、10-12月期および2016年1-3月期見通し)

中小企業の景況は、緩やかに回復している

[概況]

- ・業況判断DIは、前期（2015年4-6月期）から上昇し4.7となった。上昇は2期連続である。来期（2015年10-12月期）は低下して4.2になり、来々期（2016年1-3月期）は7.1に上昇する見通しである。
- ・売上DIは、2期連続で上昇し、7.8となった。来期は上昇して10.2になり、来々期は13.1になる見通しである。
- ・純益率DIは、2期連続で上昇し、▲1.0となった。来期は▲2.0に低下し、来々期は▲0.4に上昇する見通しである。
- ・販売価格DIは、5期連続で低下し、4.2となった。来期以降も低下する見通しである。
- ・仕入価格DIは、5期連続で低下し、34.9となった。来期以降も低下する見通しである。
- ・資金繰りDI、長期借入難易DI、短期借入難易DIは、いずれも前期から上昇した。

[調査の実施要領]

| | |
|-----------|----------------------------|
| 調 査 時 点 | 2015年9月中旬 |
| 調 査 対 象 | 当公庫取引先（原則従業員20人以上） 13,337社 |
| 有 効 回 答 数 | 6,563 社 [回答率 49.2 %] |

<業 種 構 成>

| | 調 査 対 象 | 有 効 回 答 数 | | |
|------------|---------|-----------|------|---------|
| 製 造 業 | 5,434 社 | 2,790 社 | (構成比 | 42.5 %) |
| 鉱 業 | 25 社 | 13 社 | (同 | 0.2 %) |
| 建 設 業 | 1,077 社 | 587 社 | (同 | 8.9 %) |
| 運送業(除水運) | 705 社 | 363 社 | (同 | 5.5 %) |
| 水 運 業 | 150 社 | 78 社 | (同 | 1.2 %) |
| 倉 庫 業 | 85 社 | 47 社 | (同 | 0.7 %) |
| 情 報 通 信 業 | 268 社 | 119 社 | (同 | 1.8 %) |
| ガ ス 供 給 業 | 19 社 | 10 社 | (同 | 0.2 %) |
| 不 動 産 業 | 931 社 | 404 社 | (同 | 6.2 %) |
| 宿泊・飲食サービス業 | 516 社 | 215 社 | (同 | 3.3 %) |
| 卸 売 業 | 1,881 社 | 939 社 | (同 | 14.3 %) |
| 小 売 業 | 1,019 社 | 439 社 | (同 | 6.7 %) |
| サ ー ビ ス 業 | 1,227 社 | 559 社 | (同 | 8.5 %) |

(参 考)

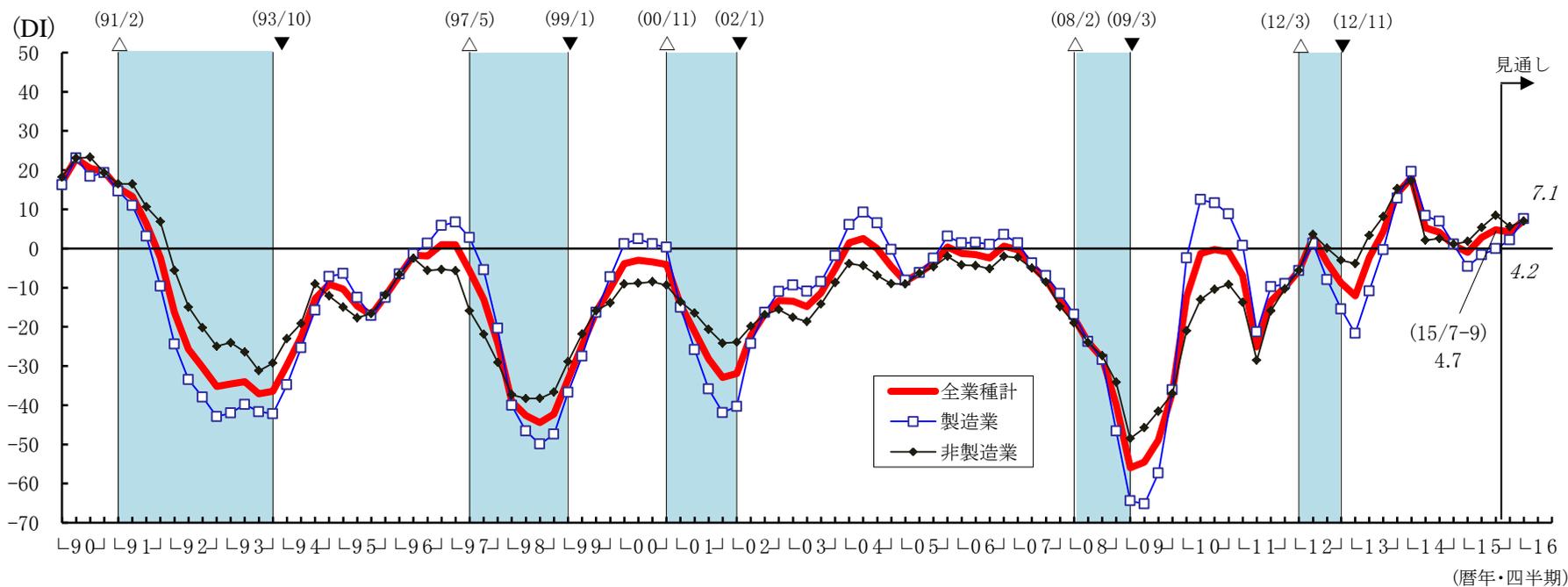
| | | | | |
|-----|-------------------------|---------|------|---------|
| 資本金 | 100 万 円 未 満 | 66 社 | (構成比 | 1.0 %) |
| 同 | 100 万 ~ 300 万 円 未 満 | 89 社 | (同 | 1.4 %) |
| 同 | 300 万 ~ 1,000 万 円 未 満 | 559 社 | (同 | 8.5 %) |
| 同 | 1,000 万 ~ 5,000 万 円 未 満 | 4,295 社 | (同 | 65.4 %) |
| 同 | 5,000 万 円 ~ 1 億 円 未 満 | 1,210 社 | (同 | 18.4 %) |
| 同 | 1 億 ~ 3 億 円 未 満 | 269 社 | (同 | 4.1 %) |
| 同 | 3 億 円 以 上 | 75 社 | (同 | 1.1 %) |

1 業況判断

- 今期（2015年7－9月期）の業況判断DIは、前期（2015年4－6月期）から1.9ポイント上昇し、4.7となった。上昇は2期連続である。
- 来期（2015年10－12月期）は、低下して4.2になり、来々期（2016年1－3月期）は7.1に上昇する見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

| | 2014/7-9 | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 (前回見通し) | 2015/10-12 (前回見通し) | 2016/1-3 |
|----------------|----------|------------|----------|----------|------------------|--------------------|----------|
| 業況判断DI (季節調整値) | 4.1 | 0.8 | ▲ 1.0 | 2.8 | 4.7 (4.5) | 4.2 (6.1) | 7.1 |
| 製 造 業 | 6.9 | 1.1 | ▲ 4.6 | ▲ 1.6 | ▲ 0.1 (2.3) | 2.2 (4.7) | 7.6 |
| 非 製 造 業 | 2.6 | 1.1 | 1.8 | 5.4 | 8.5 (6.5) | 5.6 (7.3) | 7.0 |



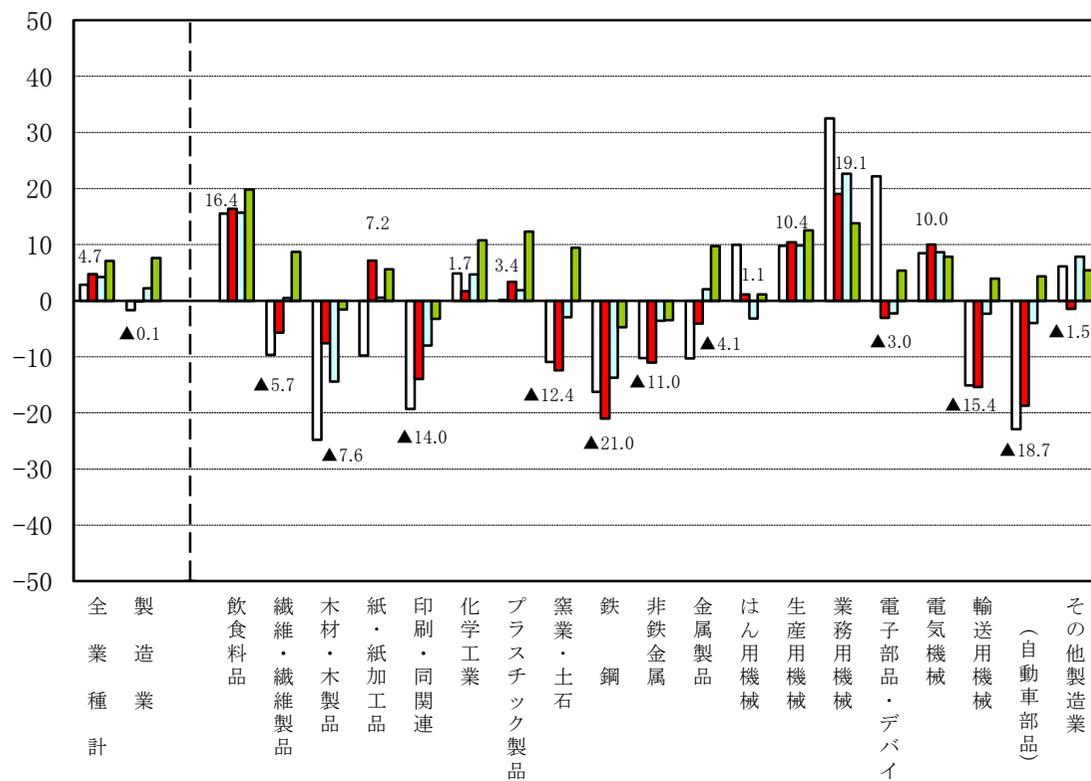
- (注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、飲食料品、生産用機械、業務用機械、電気機械などでプラス水準となった。一方、鉄鋼、窯業・土石、非鉄金属など素材関連の業種や、輸送用機械でマイナス幅が拡大した。来期以降をみると、今期マイナス水準となった業種でも、上昇する見通しの業種が多い。
- 非製造業は、運送業、情報通信業、宿泊・飲食サービス業などでプラス幅が拡大したほか、多くの業種でDIはプラス水準となった。来期は、多くの業種でDIは低下するものの、引き続きプラス水準となる見通しである。

図－２ 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

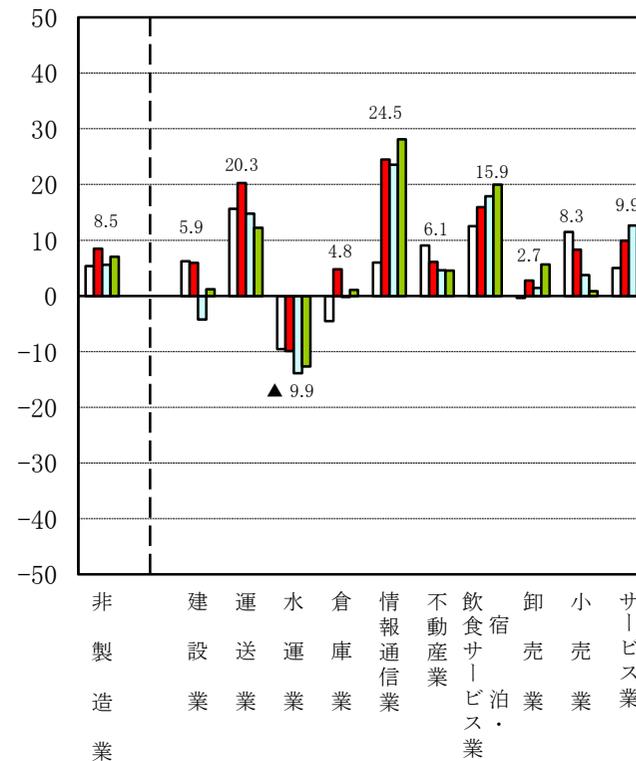


－製造業－
(DI)



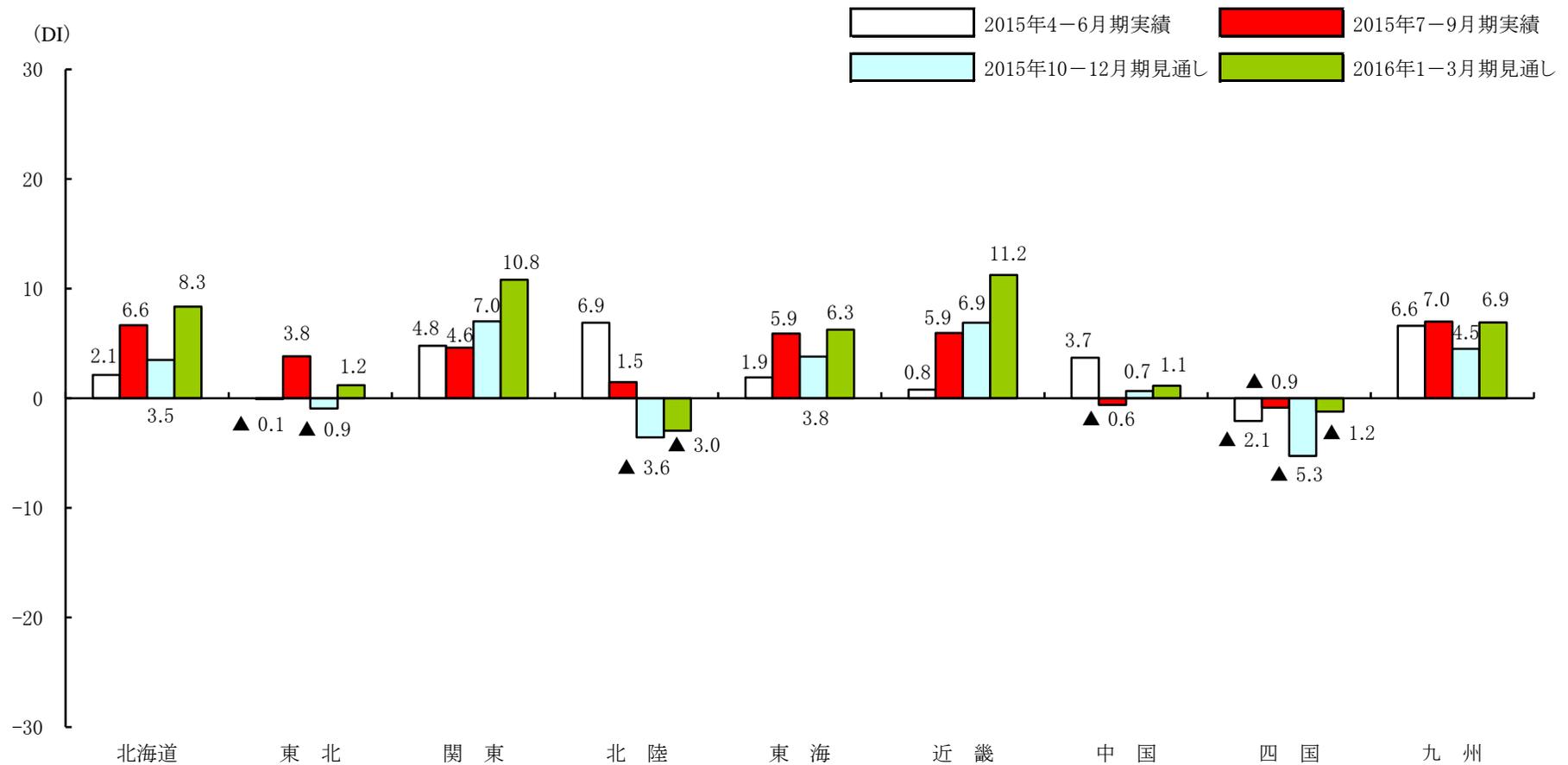
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、九州の7地域でプラス水準となっている。
- 来期は6地域で、来々期は7地域でプラス水準となる見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

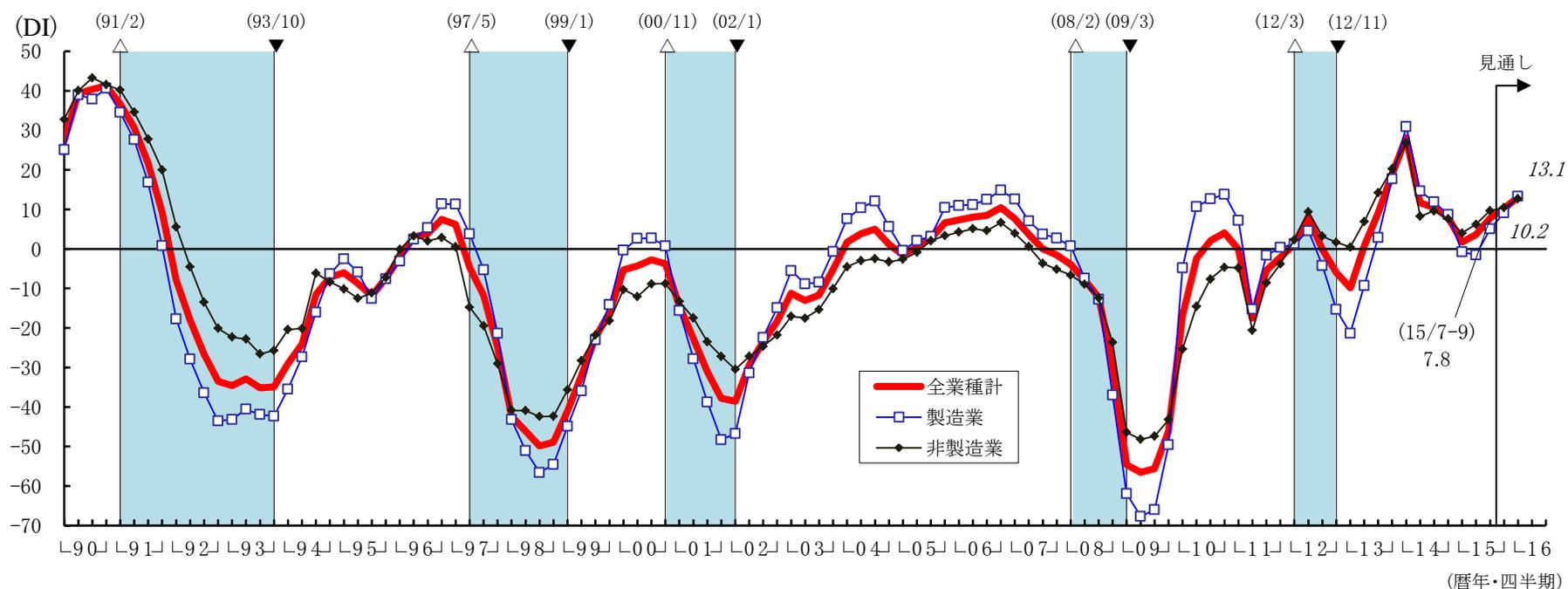


2 売 上

- 今期の売上DIは、前期から4.2ポイント上昇し7.8となった。上昇は2期連続である。
- 来期は上昇して10.2になり、来々期は13.1になる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

| | 2014/7-9 | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 (前回見通し) | 2015/10-12 (前回見通し) | 2016/1-3 |
|--------------|----------|------------|----------|----------|------------------|--------------------|----------|
| 売上DI (季節調整値) | 10.5 | 7.9 | 1.7 | 3.6 | 7.8 (10.8) | 10.2 (11.8) | 13.1 |
| 製 造 業 | 11.9 | 8.7 | ▲ 0.8 | ▲ 1.5 | 5.0 (9.8) | 9.1 (10.8) | 13.3 |
| 非 製 造 業 | 9.6 | 7.6 | 4.0 | 6.2 | 9.7 (12.8) | 10.5 (13.0) | 12.7 |



(注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。

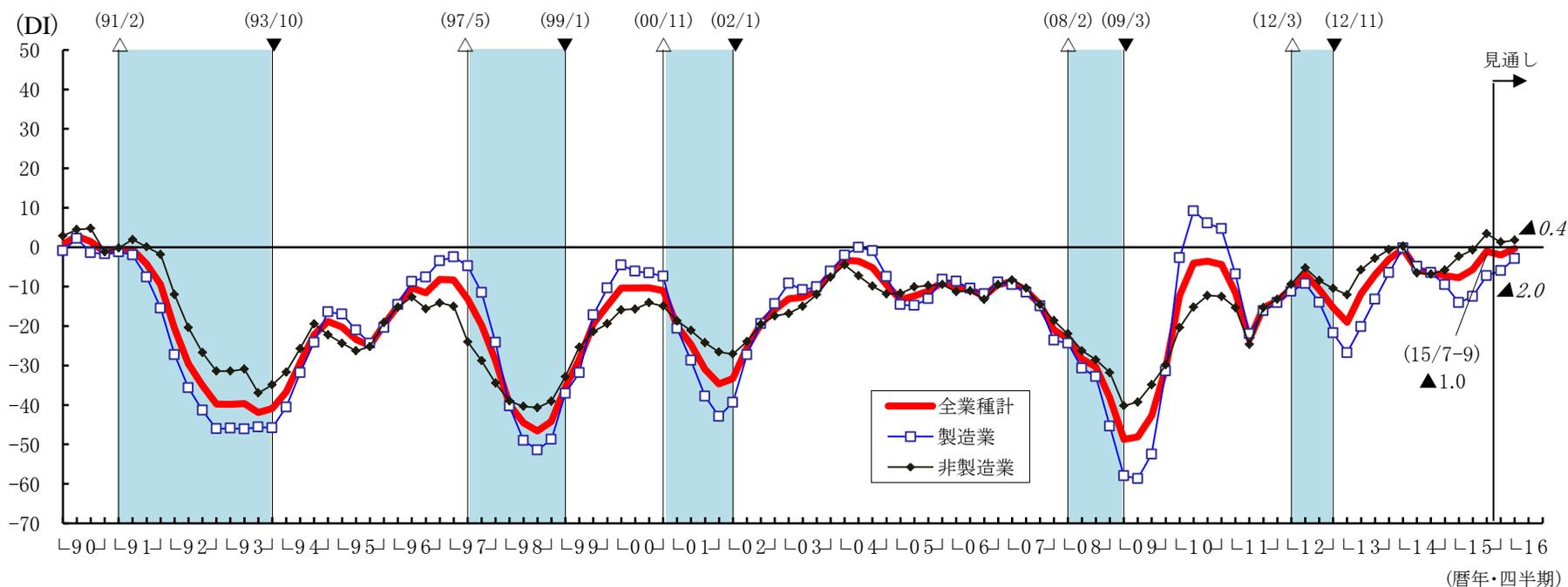
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

3 利益

- 今期の純益率DIは、前期から4.7ポイント上昇し▲1.0となった。上昇は2期連続である。
- 来期は▲2.0に低下し、来々期は▲0.4に上昇する見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

| | 2014/7-9 | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 (前回見通し) | 2015/10-12 (前回見通し) | 2016/1-3 |
|---------------|----------|------------|----------|----------|------------------|--------------------|----------|
| 純益率DI (季節調整値) | ▲ 6.5 | ▲ 7.2 | ▲ 7.7 | ▲ 5.7 | ▲ 1.0 (▲ 3.9) | ▲ 2.0 (▲ 1.6) | ▲ 0.4 |
| 製 造 業 | ▲ 6.4 | ▲ 9.5 | ▲ 14.1 | ▲ 12.5 | ▲ 7.2 (▲ 7.7) | ▲ 5.9 (▲ 4.8) | ▲ 2.9 |
| 非 製 造 業 | ▲ 6.8 | ▲ 5.8 | ▲ 2.4 | ▲ 0.7 | 3.4 (▲ 0.8) | 1.3 (0.4) | 1.8 |



(注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。

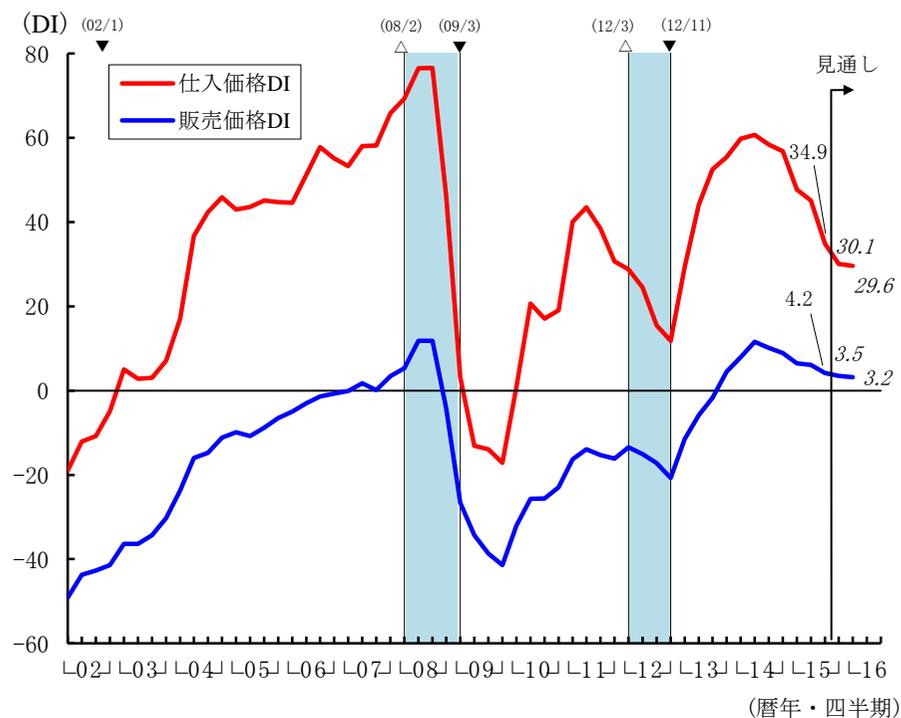
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、1.9ポイント低下し4.2となった。仕入価格DIは、10.2ポイント低下し34.9となった。低下はいずれも5期連続である。来期以降は、販売価格DI、仕入価格DIともに低下する見通しとなっている。
- 今期の資金繰りDI、長期借入難易DI、短期借入難易DIは、いずれも前期から上昇した。

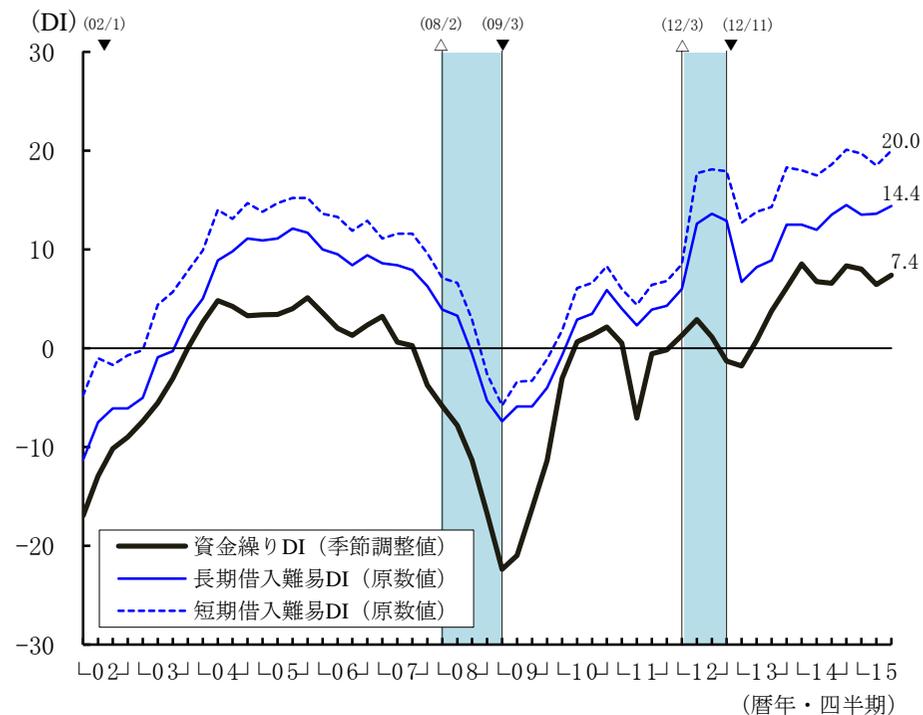
図－6 価格関連DIの推移（原数値）

| | 2014/7-9 | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 | 2015/10-12 | 2016/1-3 |
|--------|----------|------------|----------|----------|----------|------------|----------|
| 販売価格DI | 10.1 | 8.9 | 6.5 | 6.1 | 4.2 | 3.5 | 3.2 |
| 仕入価格DI | 58.4 | 56.8 | 47.7 | 45.1 | 34.9 | 30.1 | 29.6 |



図－7 金融関連DIの推移

| | 2014/7-9 | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 |
|---------------|----------|------------|----------|----------|----------|
| 資金繰りDI（季節調整値） | 6.6 | 8.3 | 8.0 | 6.4 | 7.4 |
| 長期借入難易DI（原数値） | 13.5 | 14.5 | 13.5 | 13.6 | 14.4 |
| 短期借入難易DI（原数値） | 18.6 | 20.1 | 19.7 | 18.5 | 20.0 |

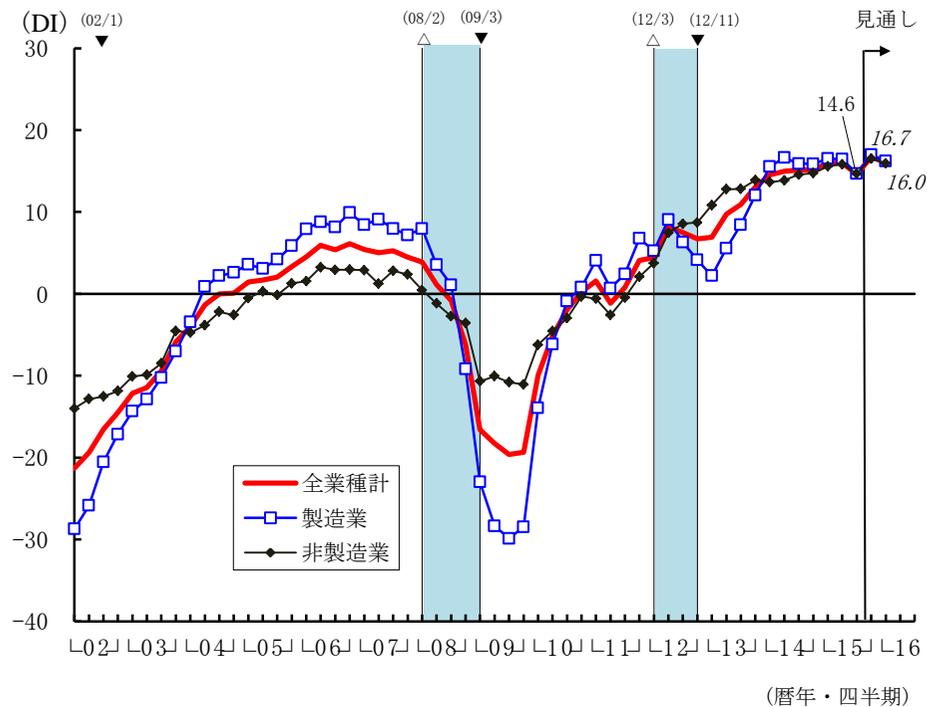


5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは前期から低下し14.6となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、37.9%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

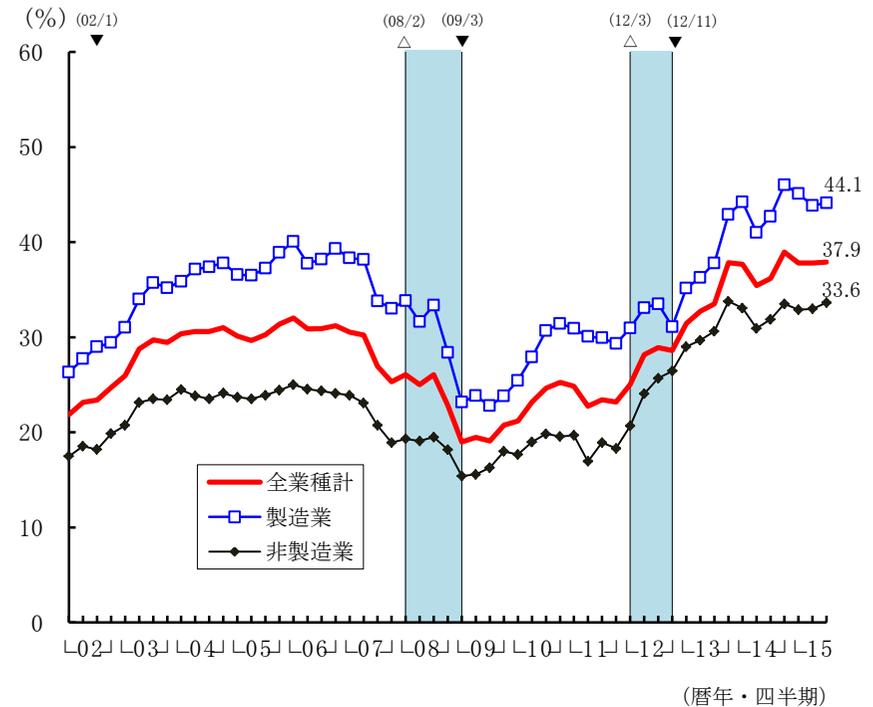
| | 2014/7-9 | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 | 2015/10-12 | 2016/1-3 |
|------|----------|------------|----------|----------|----------|------------|----------|
| 全業種計 | 15.1 | 15.2 | 15.9 | 16.0 | 14.6 | 16.7 | 16.0 |
| 製造業 | 15.9 | 15.9 | 16.5 | 16.4 | 14.7 | 17.0 | 16.2 |
| 非製造業 | 14.6 | 14.7 | 15.6 | 15.8 | 14.7 | 16.5 | 15.9 |



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

| | 2014/7-9 | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 |
|------|----------|------------|----------|----------|----------|
| 全業種計 | 36.2 | 39.0 | 37.8 | 37.8 | 37.9 |
| 製造業 | 42.7 | 46.0 | 45.1 | 43.9 | 44.1 |
| 非製造業 | 31.9 | 33.5 | 32.9 | 33.0 | 33.6 |



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が39.8%と最も多く、次いで、「求人難」(22.3%)、「原材料高」(9.3%)となっている。
- 前回調査と比べると、「売上・受注の停滞、減少」は1.9ポイント、「求人難」は2.6ポイント上昇した一方、「原材料高」は4.3ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

